



あなたも
チャレンジ

家庭菜園



園芸研究家
成松次郎

色鮮やかなサラダを楽しむ リーフレタス

図1 苗作り



図2 施肥・耕うん

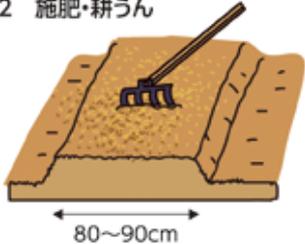


図3 マルチ張り

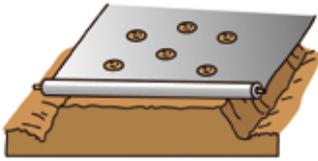


図4 植え付け

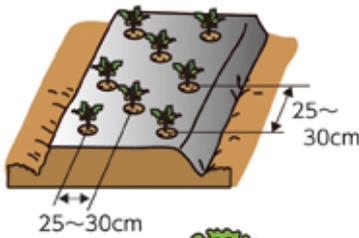


図5 収穫



「栽培期間」発芽と成長の適温は15〜20度なので、夏と冬の栽培は困難です。また、5〜6月の長日期(1日のうち昼の時間が長い季節)は花芽ができ、とう立ちしやすくなります。そのため、種まき適期は3〜4月と9月です。

「苗作り」小型ポリポットや連結ポットに1カ所4〜5粒をまき、その後間引きして本葉4〜5枚の苗を作ります。この種は好光性なので、暗黒

下では発芽しにくい性質があり、種には土を薄く掛けます(図1)。またたら新聞紙で覆い、その上から灌水(かんすい)すると、土の乾きも少なく、強い日差しからも守られます。

「畑の準備」幅80〜90cmの栽培床に1平方m当たり苦土石灰100gをまき、土とよく混ぜておきます。植え付けの1週間前に、元肥として化成肥料(N:P:K=12-8-12%)100g程度と堆肥2〜3kgを施します(図2)。平畝を作り、黒のポリマルチを張ります(図3)。リーフレタスは葉の間に土が入りやすいので、ポリマルチをして、葉が汚れないようにしましょう。

「植え付け」条間、株間とも25〜30cmを取れば、300gほどの大株になります。株間を15cm程度にして小株から収穫を始めることもできます(図4)。

「管理」生育期間が短いので追肥は不要です。また、アブラムシなどが発生しますが、比較的病害虫の少ない野菜です。

「収穫」リーフレタスは若取りがおいしいので、利用に応じて順次収穫します。下葉をかき取りながら、長く収穫を楽しんでも良いでしょう(図5)。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

園芸書コーナー

NEW 決定版 野菜づくり大百科

発売中 定価：4,180円(税込)

「あなたもチャレンジ 家庭菜園」で何度も登場している板木利隆さん執筆の書籍です。定番野菜はもちろん、近年人気のシャンツアイやチコリなどの個性派野菜も含めた計127種の野菜を収録。多くの人が悩む作業時期の判断や、肥料などを与える量とタイミングを野菜ごと解説。

家庭菜園の初心者から上級者まで、幅広い方におすすめの園芸書をご紹介します。野菜づくりの参考に、ぜひどうぞ!



お近くのJAへお申込みください。家の光図書館の情報はインターネットでもご覧いただけます。

家の光ネット <http://www.ienohikari.net>